

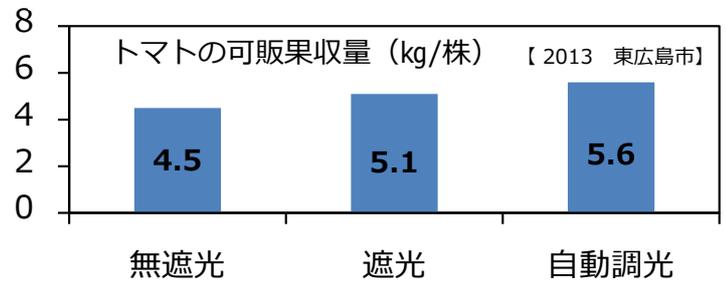
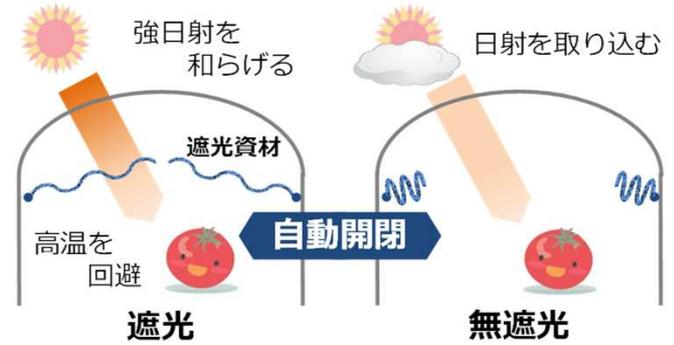


ハウス内の光環境を適正化する自動調光技術

～ 天候に合わせて遮光資材を自動開閉 ～

セールスポイント

- ◆ 天候に合わせて遮光資材を自動開閉できます。
- ◆ 栽培品目に応じた遮光制御ができます。
- ◆ 晴天時は、作業員や植物の体温を約3℃低下します。
- ◆ 曇雨天時は、光不足による徒長を防止します。
- ◆ 夏秋トマト栽培では可販果収量が増加します。
- ◆ 夏イチゴや水耕ネギ栽培など暑さ対策が必要なハウス栽培でも摘要できます。



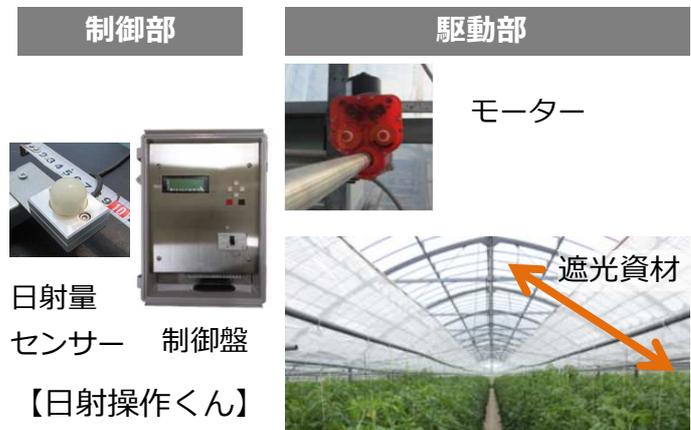
発明の特長と活用場面

具体的な活用場面

- ◆ 地域: 夏季が高温、強日射となる地域
- ◆ 品目: トマト、ネギ、イチゴ、軟弱野菜等
- ◆ 既存のパイプハウス、重装備のガラスハウスなど

発明の特徴

- ◆ 技術は、制御部と駆動部で構成します。
- ◆ 制御部は、品目に応じて遮光資材を開閉する光強度と感知間隔が設定可能です。
- ◆ 駆動部は、既存設備を活用可能です。
- ◆ 制御部は、県内企業が製造・販売中です。商品名「日射操作くん」(株)大信産業 (尾道市美ノ郷町TEL:0848-38-2612)



基本情報

発明の名称	①トマト栽培用自動調光制御方法およびその装置 ②ハウス栽培制御装置及び方法		
特許権者	広島県		
出願番号	①特願2015-64072 ②特願2017-5063	出願日	①平成27年3月26日 ②平成29年1月16日
特許番号	①特許第6210384号 ②特許第6252959号	登録日	①平成29年9月22日 ②平成29年12月8日
実施許諾実績	■有 (1件) □無	事業化実績	■有 (1件) □無
共同研究	■要相談 □不可	サンプル提供	■要相談 □不可
問い合わせ先	農業技術センター 技術支援部		TEL 082-429-0522